

『海の出前授業』派遣レポート

都道府県：神奈川県

派遣先：川崎港開港 70 周年記念第 48 回川崎みなと祭り

授業タイトル：みんなで考える海洋環境教室

講師名：野村英明（東京大学・大気海洋研究所）

派遣年月日：2021 年 11 月 21 日（日）

概要

川崎港開港 70 周年記念第 48 回川崎みなと祭りの中のイベントの一環として行われた小学生高学年向けの出前授業。授業は午前と午後の 2 回、小学生と保護者の各 15 組の 60 名に対して実施。場所は、神奈川県川崎市の東扇島にある川崎マリエンの 4 階研修室。会場の目の前にある東京湾の説明を中心に、海で起こっているいくつかの環境問題を勉強し、海と私たちの生活がつながっていることを知ってもらうことを目的に行なった。

授業は午前午後とも同じ内容で行い、1 回につき 3 部構成とした。

第 1 部では地球の海や食物連鎖の基礎知識を学んだ後、私たちの目の前にある東京湾は沿岸の人口密度が高く人間活動の影響を受けているといったことを説明。そうした東京湾で頻発する赤潮を主題に私たちの生活と海の環境のつながりを解説。この中では、赤潮とは何かから、それが起こりやすい原因、持続させる要因や結果として起こる青潮による生態系へのダメージについて言及。

第 2 部では実際に東京湾で採取したプランクトン（固定試料）を使って顕微鏡でどのようなプランクトンがいるのか、そのプランクトンが何を食べているのかや、生活史などを説明しながら観察。

第 3 部では最近問題になっているマイクロプラスチックについて、東京湾で採取してサイズ分け後ソートした実物を見てもらった。海に流れ込んだプラスチックを掃除することができずどんどん堆積していくことや、心配されている生態系への影響を解説。こちらはどちらかというと、保護者向けに説明を行った。